



※今回展示するのは「触れる地球」小型版です。

触れる地球 展示

Tangible Earth

農学部 弥生講堂 一条ホール

平成22年5月29日(土)・30日(日) 10:00~17:00

「触れる地球」 <http://www.tangible-earth.com/>

世界初のインタラクティブなデジタル地球儀。

宇宙からみたリアルタイムの雲の動き、台風の発生や地震活動、渡り鳥の航跡、ひいては大気汚染物質の流れや地球温暖化の過程まで、自分の手でグルグル回しながら、地球のダイナミズムを生きた形で体感することができる。

2002年にプロトタイプを発表、その後も改良を重ね、2005年の愛・地球博、2005年度グッドデザイン金賞受賞、2008年の洞爺湖サミットでも展示され好評を博す。

「地球を結んで、みんなで回しあう、そしてみんなで育てあう生きた地球儀」というビジョンのもと、単にリアルタイムでインタラクティブに地球環境について学べるツールとしてではなく、地球的な感性を育む公共プラットフォームとして進化を続けている。今回は、この地球儀にイネの栽培可能性マップが初めて出現します。

プロデューサー：竹村真一 (Earth Literacy Program)
ディレクター：岩政隆一 (株式会社GKテック)
制作：株式会社プロジェクト・タオス / 株式会社GKテック / サイナー株式会社

オリジナルコンテンツ
「SIMRIW によるイネの栽培可能性予測」

清口 勝 / 二宮正士 (東京大学 大学院農学生命科学研究科)
木浦 卓治 / 田中 慶 (独)農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター